

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：川崎市土淵保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐々木 悦子	定員（利用人数）：120(116名) 名
所在地：〒214-0038 川崎市多摩区生田2-14-5	
TEL：044-933-8942	
ホームページ：https://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000127679.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1979年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：川崎市	
職員数	常勤職員：30 名 非常勤職員：1 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：25名 用務員：1名
	看護師：1名 調理員：2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：11
	（設備等）トイレ：フロアごとに設置、調理室：1、事務室：1、地域支援ルーム：1、職員休憩室：1、園庭：有

③理念・基本方針

<p>保育の理念（土淵保育園の役割）</p> <p>『子どもの権利を保障し、未来を担う子どもたちの生きる力を育む保育』</p> <p>保育方針（具体的にどんなことをしていくのか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の子どもの情緒の安定を図り、健全な心身の発達を促していく ●園生活が子ども達にとって楽しく豊かなものになるよう、家庭や地域社会との連携を図り保育にあたる ●地域の子育て支援を積極的に遂行していく <p>保育目標（小学校に行く頃はこんな姿になることを目指します）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●（にこにこ）元気で明るい子 ●（きらきら）意欲を持って遊べる子 ●（すくすく）自分の気持ちを素直に表現し、思いやりのある子
--

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>多摩区のセンター園として、経験豊富な保育や多種の専門職員がそれぞれの力を発揮し、また十分な連携をとりながら「子どもにとってどうなのか」の観点から日々の保育や保護者・地域支援・民間保育園と一緒に研修、公開保育、懇談会等の人材育成に力を注いでいる。</p> <p>特に食育に力を入れ、コンポスト作りを行いながら広い園庭に畑を作って季節の野菜を育て、保護者も巻き込みながらさまざまな生命の営みを体感し心豊かな子どもたちが育っている。SDGsを意識した保育も展開している。コロナ禍以前にはいろいろな年齢の子どもたちの交流にも力を入れており、リズム遊び・季節の遊び等を通し、優しさや</p>

思いやりの気持ちの育ち合いを大切にしてきた。また、ひとりひとりを大切に、それぞれの思いを受けとめ、十分に甘えられる関係をもてるよう職員一同心掛けています。安心して明るい雰囲気の中、心もからだも健やかに育ちあえる場を目指している。

在園児の保育とともに、園庭開放・絵本の貸し出し・年齢別のzoom講座など、地域に住む親子に向けての支援を行っている。令和6年度には「多摩区保育・子育て総合支援センター」として新たな「保育・地域の拠点」となるため、子どもの最善の利益を考えた保育に職員全員で取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年9月21日（契約日）～ 令和4年4月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)一人ひとりの子どもの自由な表現を大切にしています

子ども一人ひとりに寄り添う保育を行い、専門性の高い職員により保育園としての役割を踏まえた取組を丁寧に実施しています。子どもがのびのびと遊び、自分の思いを表現できる環境が整備されています。経験豊富な職員が子どもたちの思いの表出、意思決定が出来るように支援しています。公開保育のテーマとして「表現」を上げ、自由な表現を大切にしています。日常保育の中で子どもの「自然な姿」を受け止め、子どもの「声」を聴き、表情、仕草から思いを汲み取るよう常に心がけています。制作やリズム遊び、夏祭りなど、子どもの意思を表明する機会には子どもたちの生き生きとした活動が見られています。

2)子どもの人権をテーマに職員間で協力し、保育を実践しています

川崎市公立保育園統一の保育理念として「子どもの権利を保障し未来を担う子どもたちの生きる力を育む保育」を掲げています。土淵保育園では、川崎市多摩区のセンター園として地域支援や民間園との連携で公開保育や研修に取り組んでいます。今年度は「子どもの人権」をテーマに公私立保育園共同で「子どもの人権を尊重する保育の為に～私たちが大切にしたいこと～振り返りリスト」を作成し、より質の高い保育のあり方について学び合っています。保育士、看護師、栄養士など、職種間の連携も良く、子ども一人ひとりの思いに寄り添いながら保育にあたることを掲げています。職員互いが協力し合える関係性を築きながら、理念と方針の実現に向け、園全体で取り組んでいます。

3)地域の子育て支援や次世代育成に積極的に取り組んでいます

多摩区のセンター園として地域の子育て支援や民間園との連携を図り、保育の質の向上を目指すなど地域支援に力を入れています。地域支援便りを発行し園情報を伝えています。園庭開放、身体測定、図書の貸し出しなど0歳～就学前の親子を対象として多彩に実施されています。この様な事業を通じて地域ニーズの把握に努め、次年度の企画に反映しています。現在はコロナ禍の為に実施できないイベントも多くありますが「みんなで遊ぼう！話そう！」などを年齢ごとにオンラインで開催しています。次世代育成に向けて中・高校生、実習生等の受け入れにも力を入れています。

◇改善を求められる点

1)アフターコロナを踏まえて職員同士の情報共有

園は定員120名の大規模保育園です。職員数も多く、多摩区のセンター園としての大切な役割を担っています。今年度から保育時間の延長があり、長時間保育（7:00～20:00）の延長時間の保育内容について職員で検討し、より良いものにしていくことや、次年度からの大きなプロジェクトの園舎建て替えなど、職員が統一した認識で進めなければならない案件があります。しかしコロナ禍で現在は対面での話し合いが難しい現状もあり、コミュニケーションの取りづらさがあります。ICT化を推し進めWebでの研修や会議等新たなツールを使って情報共有の体系化を図ることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今後の保育園運営の見直し、保育の質の向上のために、第三者評価を受けさせていただきました。

保護者の皆様におかれましては、アンケートにご協力いただきありがとうございました。保育理念をもとに、保育目標、保育方針をたて、「子どもの最善の利益」を最優先して保育を行なってまいりました。

「一人ひとりの子どもの自由な表現を大切にしています。」等の評価していただき、職員一同日頃から取り組んできました

保育についてより一層自信につながりました。

今後も、改善点、課題にも取り組み保育の質の向上に努めてまいります

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり